



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2021-2022 年度

会報

地域密着型、ロータリークラブに



2021. 12. 01 第1408回例会 No. 32-09 2021. 12. 08 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 菊池 敏

◎開会点鐘 会長 杉山 真一

◎国家及びロータリーソング 斉唱

「君が代」「我らの生業」

◎「四つのテスト」 唱和

◎お客様紹介 会長 杉山 真一

国際ロータリー第2750地区 米山資金推進委員会

委員長 相田 禎延 様

岡山西南 RC

椎原 裕二 様

◎幹事報告

幹事 初野 有人

配布物：

前回分 1406号(11/24 配布済)

今回分 1407号

ロータリーの友 12月号

回覧物：なし

その他報告：特になし

他クラブ例会変更は事務局までお問合せ下さい。



【委員会報告】

◎出席報告

出席奨励委員会 遠藤 二郎

会員総数	26名
出席義務免除者	7名
出席者数	13名
出席義務者	13名
出席免除者	4名
計	17名
出席率	17/26=65.38%

◎ニコニコBOX

SAA・親睦委員会 福岡 均

椎原裕二様 コロナのため1年大変でしたが、大変御世話になりました。来年もよろしくです。

杉山 真一 相田様 卓話宜しくお願ひします。

初野 有人 相田様 本日はお忙しい中、ありがとうございます。

遠藤 二郎 相田委員長ようこそ。卓話よろしくお願ひします。

足立潤三郎 相田禎延米山資金推進委員長様、ご苦勞様でございます。

関岡 俊二 相田様卓話よろしくお願ひします。

森本 由美 相田委員長、雨が上がり、ホッ!としました。本日はよろしくお願ひ致します。

菊池 敏 相田様卓話よろしくお願ひします。



◎会務報告

会長 杉山 真一

ガバナーとの先週の懇親会で言われたことは、1点目に本年度の残り一年分の活動を行ってほしい、奉仕活動で日本は、世界の他クラブと共同プロジェクトを行う事、2点目に会員の増強を活動計画書の職業分類表の空欄を埋め、また、会員1名が1名を入れましょう、です。



例会場 京王プラザホテル多摩 例会日 水曜日 12:30～ 月最終例会 18:30～
事務局 〒206-0033
多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042-372-6463 FAX 042-372-6491 Eメール tokyotamagrc@gmail.com

会長 杉山真一 幹事 初野有人
会報・記録委員長 福岡均 副委員長 三田みよ子
委員 伊藤綾乃 菊池敏 森本由美 小泉博 関岡俊二
田崎博実 大槻一夫 米津正五

HP: <https://www.tama-green.jp/>

入沢 修自 いろは坂7往復すると1時間です。みなさまも、よろしければ。
 堤 香苗 相田様、卓話楽しみにしています。
 大槻 一夫 米山資金推進委員長 相田様、卓話宜しく
 お願いいたします。
 峯岸 忠 相田委員長卓話楽しみにしております。
 伊澤ケイ子 相田様卓話ありがとうございます。
 米津 正五 新型コロナ感染恐いですね！
 又、基本に戻った対策をとりましょう。
 伊藤 綾乃 相田委員長ようこそ
 本日会報当番がんばります
 小泉 博 おせちは京王の三段重かな？
 相田委員長ようこそ
 ほか お茶代の残りです！1,200円

本日の合計¥21,200 (累計¥225,530)

◎会員表彰

会長 杉山 真一



第1回米山功労者
 第5回マルチプルポール
 ハリスフェロー
 峯岸 忠 会員

お蔭様で財団の方は5回目、米山は初めて今年寄付させて頂きましたけどこれからも頑張るべく多く寄付させて頂きたいと思っております。よろしくお願ひします。



◎卓話者紹介 プログラム委員長 田村 豊

※委員長欠席のため 初野幹事が代理

◎卓話

国際ロータリー第2750地区 米山資金推進委員会

委員長 あいだ よしのぶ 相田 禎延 様

演題「米山記念奨学事業について」



米山資金推進委員会委員長の相田と申します。

今日は、卓話のお時間を作って頂き誠にありがとうございます。

米山記念奨学事業についてお話させていただきます。

奨学事業と最後に寄付のお願いもさせていただきます。

よろしくお願い致します。

1. 米山奨学事業は、日本ロータリー独自の事業です。

ロータリークラブは、世界各地にあり、この奨学事業は日本だけで行われています。

日本全国に34の地区があり、全ての地区、全てのクラブ、全てのロータリアンの方にご協力を頂いている事業です。

2. 日本で学ぶ外国人留学生の支援に特化しています。この奨学事業が出来たのが戦後間もなく二度と悲惨な戦争は繰り返さぬようという趣旨で出来た為、外国人留学生に特化して支援をしています。

3. 世話クラブ、カウンセラー制度 米山奨学生をお世話して頂くクラブを必ず決めて米山奨学生一人に対して一人のカウンセラーにお願いして面倒を見て頂いております。

4. 米山事業とは、日本全国のロータリー会員からの寄付金を財源として日本で学ぶ留学生に奨学金を支給し支援をする国際奉仕です。

5. 米山奨学事業の目的は、米山奨学生を支援し育て国際

理解親善平和の架け橋になってもらうことが最大の目的です。

米山奨学生に我々の理念のご理解を頂き、我々ロータリアン自身も米山奨学生と一緒に活動する事により国際理解親善平和を推進していきたい、日本の良さを伝えていただきたいと思いながら活動しております。

国際理解と親善平和という言葉は、公益財団法人のロータリー米山記念奨学会の定款第4条目的にも明文化されております。

また、国際ロータリー定款にも、一番根底にあるロータリーの目的が第4条の4「奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する事。」と明文化されております。

奨学事業の目的と国際ロータリーの目的が同一である事をご理解願います。

5. 米山梅吉は、1868年明治元年生まれ、1920年日本で初めての東京ロータリークラブの創立に尽力しました。19歳で渡米し、アメリカで法律や経済を働きながら学び8年間滞在しました。帰国後、知人の紹介で旧三井銀行に入行し、頭角を現し40代の初めで常務取締役になりました。

その後、日本で初めての信託銀行 旧三井信託（現在 三井信託銀行）の取締役社長にも就任しました。

第一線を退いてからは、三井財閥が作った三井報恩会社会奉仕事業でハンセン病の患者を支援し、その団体の初代の理事長を務めました。

また、青山学院のOBであり青山学院初等部の創立者となり、青山学院に建物を寄贈等様々な奉仕活動しました。

6. 米山奨学事業の始まりは、梅吉さんが1946年に死亡した後、1952年当時の古沢丈作さんが米山梅吉さんの功績を称えて米山基金をつくり世界の平和、日本の平和の為に外国の留学生の為に支援をしようとなったのがこの事業の始まりです。

1954年に米山奨学生の一人目がタイから招かれて始まっており70年近い歴史があります。

1957年に日本全国の組織が広がり、1967年に財団法人化、2012年に公益財団法人となっています。

7. 米山奨学生について

202学年度 910人（日本全国でお世話をしている数）

2750地区 今年度 50名弱

累計 129国 22267人

選考基準は、勉強の意欲、人物面を重視、留学の目的、交流が定まっているか ロータリアンとしての交流への意欲 人間性、人柄、コミュニケーション能力などです。

8. 寄付について、普通寄付は、全てのロータリアンから寄付を頂いています。

特別寄付は、個人、法人、クラブ周年行事等からの寄付、ロータリアンに限らずとも寄付は受け付けています。

収入は、米山の寄付額 13億3684万円（普通寄付4億1900万円、特別寄付9億1700万円）と、特別寄付は、普通寄付の2倍以上であり、特別寄付がないと回りません。

支出は、事業費 14億4700万円、奨学金12億4300万円、補助費他2億円（米山奨学生のお世話しているクラブに補助金）日本全国にある地区セミナー等の経費です。

昨年度は、2750地区の寄付総額は7900万円、個人寄付平均18000円は日本全国34地区3位、特別寄付の割合が少し少なく41.6% 34地区16位、地区4割の方が一生懸命に寄付して頂いている為、総合第3位となっています。

二年前と比べると地区会員が200名以上減少し、コロナにより例会が中止になる場合もあります。

勝手なお願いではありますが、例年より少し多めに寄付して頂けますと幸いに存じます。

当地区ファストガバナー水野様のお言葉として、「寄付は第二の奉仕」があります。

今年度は奉仕活動が出来ない場合が多く 奉仕活動が出来なく予算が余った場合は米山奨学事業に回して頂けますと大変助かります。

また、米山奨学事業への寄付は、控除の対象になります。是非ご活用下さい。

寄付に対する表彰制度あります（2万円以上）



9. 米山学友について、国内33各地区にあります。

近隣諸国には、9つの米山学友会があります。

ロータリアンになった方もおり260名近くガバナー3名がおります。

学友からの寄付は累計で4000万円です。

日本の場合、米山のPR活動等全国で行っております。
昨年、熱海での土砂災害の際には台湾から素早く義援金を送金して頂きました。

また、台湾の学友会は日本人学生の奨学金事業も行っています。

韓国でも同じく日本人学生の奨学金事業を行っております。

10. 危機管理について、日本は、自然災害が多い為、孤立しないようLINE等で小学生に連絡しています。

病気や事故 昨年、例會等の行き来中にケガがあった場合、傷害保険が下りるようになりました。

奨学生に対してハラスメントがあった場合、地区の米山、もしくは管理委員会にて対応しています。

事務的なお話になりますが、冒頭で我々地区の委員会は、米山奨学会から財団法人から委託されているとお話しました。昨年度から地区とお世話クラブでも覚書を締結しております。内閣府からの指導により公益財団法人の為、どのような事業を行っているのか明確に示すよう昨年、取り交わすようにしております。

駆け足になりましたが、今年度コロナ禍ゆえ先が見えませんが特別寄付を是非お願いしたく存じます。

また、米山に対してよく分からない事がありましたらいつでもご質問にお答えしますので遠慮なくご連絡下さい。

ご清聴ありがとうございました。

11. 質疑応答

質問. (初野幹事)

一年間にいっしょに外国の国籍を見るとベトナムの方が増えているという印象があります。

将来、日本でのお仕事等考えているのでこちらに来られるのだと思います。

今、皆さん勉強で増えてきているという内容は、どのような内容でしょうか？

答え. 個別の勉強は把握していませんが、ベトナムなどの周辺国は経済的に発展している為

やはり日本での就職を希望している学生が多くなって

おります。

来週、面接がありますが、聞いた話によると中国の学生さんが多いと伺っております。

中にはアフリカ、南米、アメリカ等 なるべく色々な国から取りたいと思っております。

ただ、先ほども申し上げたようにその学生さんが何をみてどのようにしていきたいのか

ロータリーとの交流を通じて平和に貢献してくれるかどうかを一番大事なので

国籍の平準化は、しておりますがそれを第一的にはしておりませんので若干偏る場合があります。

その辺りは、ご理解頂けますと幸いです。

ご意見 (森本会員)

以前耳にしたのは、大学からの推薦の方を対象にしており、決まったような大学だけではなく幅広いところから募集して検討されるのははどうでしょうか。

偏りがあまりにありすぎるように思いました。

もう少し全世界的にグローバルに選択するのもあるのではないかと思います。

答え この奨学金に理解のある大学からの応募が多い為、偏りが多いのは、事実です。選考委員会があるのですが、そちらでも同じような意見がでます。ただ、私の方でも改めてお話をしてみます。

貴重なご意見ありがとうございました。

◎閉会点鐘

会長 杉山 真一

相田委員長ありがとうございました。一つだけ。皆さん社員一緒です。5年、10年かけて漸く一人前になると思います。皆さん短気さえ起こさずにやっつけようと思います。学生も一緒だと思います。ありがとうございました。

今週の担当 伊藤 綾乃



年内の例会予定

12月 8日 (水) 卓話 消防署 署長

12月 15日 (水) クリスマス会・年次総会 夜例会

12月 22日 (水) 定款休会

